



2025年 新年 子 ものづくり通信

第178号

大阪府ものづくり振興協会

大阪府中央区本町橋2番5号マイドームおおさか6階

電話・06-4792-7849



2025年 年頭所感

会長 野村 重之



2025年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は大阪府ものづくり振興協会の運営に際し、格段のご支援ご指導を賜り衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年早々、石川県能登半島で最大震度マグニチュード7.6の揺れる地震が起きました。これを機に多くの地震災害が我が国に余儀なく再発し、また記録的な猛暑、線状降水帯による豪雨にて被災地では心が折れる状況となりました。明日は我が身かも知れません。被災に合われた方、お亡くなりになられた方々に対し、ご冥福をお祈り致しますと共に被災を受けられた方々には、心よりお見舞いを申し上げます。また被災地における一日も早い復興を心よりお祈りを申し上げます。

昨年末の与党過半数割れとなった衆院選を受けて11月11日召集された特別国会は石破茂首相（自民党総裁）を指名しました。政治改革議論は、我々国民にとって突っ込んだ議論を行い、なるべく早いうちに結論を出して頂きたいものです。また米国では共和党候補のドナルド・トランプ前大統領が4年ぶり政権に復帰しアメリカファーストによる日本経済・日本株の流れは、減税・関税・移民排除の3点セットで労働市場が逼迫、ドル高圧力は高まると予想される方もいらっしゃると思われませんが、先行き不透明です。分かっているのは、ロシアによるウクライナ侵略の長期化、イスラエルとパレスチナ紛争等、円安による原材料価格や物価・光熱費が高騰し食品をはじめあらゆる分野で値上げが相次ぎ製造業には大きな減益要因としてのしかかっていることです。

当協会はものづくりの観点から、ものづくりを変えるイノベーションとして若い世代へ化学の魅力を発信しなくてはなりません。

カーボンニュートラル（温室効果ガス〔GHG〕排出量実質ゼロ）への次世代の化学産業の成長に向けた基盤産業、次世代エネルギーの水素・アンモニアの利活用の動きが活気づき〔GHG〕ゼロによる海外企業との連携、医薬品といった健康に関わるライフサイエンス領域によるベルギー南部のワロン地域と日本との結びつきの強化、リチウムイオン電池（LiB）材料事業への大型投資を背景に自動車の電動化と国際競争の激化、比較的軽い樹脂部品や軽金属部品をはじめ高性能を支える材料への注目度のアップ、高機能材料における新たな用途の3Dプリンターの素材、人工知能（AI）やデータセンターなど先進的な会社の発展必要不可欠な半導体と表面を保護する感光性絶縁材料と半導体PFAS理型フィルム実現等、化学産業の社会貢献への理解促進は産学一体となって明日を担う若い世代に化学の面白さ不思議さを通じて科学技術の重要性を理解して頂き人材育成を視野に取組んで行かれることを望みます。

大阪万博が開催される2025年にとしまして、皆様方のご健勝とさらなる飛躍の年になりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。





2025年 年頭所感

近畿経済産業局長 信谷 和重



令和7年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2025年の関西経済の展望

我が国経済は、名目GDPで600兆円を超える規模となりました。設備投資は100兆円を超え、昨年の賃上げ率は33年ぶりの高水準となり、成長と分配の好循環が動き始めています。他方で、国内では、人手不足や物価の上昇の課題があり、国外では、第2期トランプ政権の今後の政策動向、中東、ウクライナ情勢など十分に注視する必要があります。

我が国全体としては、昨年11月に決定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を活かし、賃金と投資が牽引する成長型経済に確実に移行しなければなりません。

関西では、今年、万博が開かれます。関西経済発展の大きな刺激となることが期待されます。

中小企業を取り巻く経営環境と近畿経済産業局の取組

関西の経済は、流通、小売、サービス業から、世界的技術を有する企業まで、幅広い中小企業によって成り立っています。活気づく経済にあって、中小企業は、賃上げと人材確保、物価・エネルギー価格上昇と価格転嫁、金利への配慮など、様々な課題に向き合わなければなりません。

そうした中で、ロボット導入など省力化投資、人的投資で生産性を高める動き、DX（デジタル・トランスフォーメーション）で経営のあり方を変え収益を高める動きなど、先進的な動きが見られるようになってきています。

近畿経済産業局としては、経済対策に盛り込まれた支援策の普及、下請Gメンによるヒアリング、パートナーシップ構築宣言の拡大、よろず支援拠点の活用、下請振興法の改正による資金繰りの改善などによって、中小企業を支援してまいります。

新たな地方創生

昨年は、地方創生の取組が本格的に始まった「地方創生元年」から10年の節目を迎えました。昨年11月に閣議決定された経済対策では、地方創生の交付金が倍増され、地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押しすることとしております。またGX投資の予見可能性を高めるため、国として20兆円規模の先行投資支援を行い、官民で150兆円を超えるGX投資を行っていきます。加えて、中堅企業成長ビジョンを策定しつつ、地域経済の担い手として中核的な役割を果たすことが期待される中堅企業の自律的な成長の実現等を通して、地方創生の後押しになるよう取り組んでまいります。

大阪・関西万博と関西経済

大阪・関西万博では2800万人を超える来場者が見込まれており、うち350万人は海外からと予想されています。

近畿経済産業局では、万博来場者が地域を訪れ、関西全体が活気づくよう施策を講じています。例えば、地域活性化の取り組みを紹介する「360° EXPO拡張マップ」、地域企業を紹介する「オープンファクトリー」、アジアの有力旅行代理店を招いた万博+地域の旅行プランづくり支援などを行っています。

また、10月の万博終了後も、関西は世界の注目を浴びる地域であり続けなければなりません。万博では「未来社会の実験場」として様々な取組が披露されます。それらに関西に実装して、経済発展の原動力とすることが重要です。

例えば、万博では、スタートアップが、世界の投資家等と一緒に、地球規模の課題に挑戦するイベントが開催されます。万博後の関西も、人類の課題に挑むスタートアップの世界的拠点となることが期待されます。また、水素や次世代空モビリティなど、新しい技術の社会実装を進めなければなりません。近畿経済産業局ではこうした動きを支援してまいります。

以上より、近畿経済産業局は、関西のみならず日本経済、ひいては世界全体の持続的な発展に繋げていくために取り組んでいきます。

結びに、経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



令和7(2025)年 年頭所感

大阪府知事 吉村 洋文



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

いよいよこの4月、大阪・関西万博が開幕します。2018年の開催決定以降、大阪府・大阪市一体で、国や博覧会協会、経済界などと連携し、この国家プロジェクトの準備に全力を尽くしてきました。本年は、その集大成となる「万博イヤー」です。

万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界が抱える様々な課題に対して、革新的な技術やアイデアなど、人類の叡智を結集し、解決への針路を示していく。そして、その成果を活かし、万博後も持続的に成長・発展し、世界に伍する大阪をつくり上げていく。これこそが、誘致段階から万博に携わってきた私の思いです。

「未来社会の実験場」となる万博会場では、まずは、世界最大級の木造建築物「大屋根リング」が皆様をお迎えします。そして、次世代の太陽電池と呼ばれる「ペロブスカイト太陽電池」や、空の移動革命として期待される「空飛ぶクルマ」、「言葉の壁」のない高度な自動翻訳サービスなどが展開されます。地元自治体として出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」においても、自身の健康データを元に25年後の姿に出会える「ミライのじぶん」や、iPS細胞による「自ら動く心筋シート」、万博に向けて新技術開発などに取り組む、440を超える大阪の中小企業・スタートアップなどの技術力や魅力を発信します。皆様もぜひ会場で、これまで想像もなかったような「未来社会」を感じてください。とりわけ、次代を担う子どもたちには、五感を通じてリアルに体感してほしいと願っています。

国内外から来阪される皆様に、安全・安心に、そして大阪ならではのおもてなしでお迎えする。あわせて、一人でも多くの方に大阪を知ってもらい、その魅力を感じてもらえるよう、関係者一丸となり、会場内外で万博との相乗効果を高めていきます。

万博を契機に、世界中の人々をひきつけ、投資を呼び込み、大阪で挑戦する人材や企業が集まる流れを生み出していく。そのための新たな成長戦略、「Beyond EXPO 2025」を大阪府・大阪市で取りまとめ、速やかに具体化に着手します。

大阪・関西の強みであるライフサイエンス分野をはじめ、カーボンニュートラル、新モビリティなど、万博を機に芽吹いた革新的な技術の社会実装・産業化に向けた取組を加速させます。あわせて、ディープテック分野を中心としたスタートアップ支援や、「国際金融都市OSAKA」の実現に向けた施策を推進します。

大阪のインバウンドは好調に推移しており、万博を機にさらなる増加が見込まれます。この機を逃さず、大阪らしさを発揮した新たなエンターテインメントの創出や、観光客の受入環境整備、世界最高水準の成長型IRを核とした国際観光拠点の形成など、都市のプレゼンスを高める魅力づくりに力を注ぎます。

万博の成功と、そのインパクトを活かした大阪の成長。これらを府民の皆様の安全・安心や豊かな暮らしの実現につなげていきます。行政として重要な使命は、府民の皆様の命と財産を守り抜くことです。昨年の能登半島地震などにより、改めて災害への備えの重要性を痛感しました。頻発する自然災害へのソフト・ハード両面での対策や、新たな感染症の発生を想定した取組など、危機事象への対応力強化を図ります。あわせて、長引く物価高騰への対策や、人口減少局面にあっても市町村が将来にわたって行政サービスを安定的に提供できるよう、基礎自治機能の充実・強化に取り組みます。

人々の心に残り、明るい未来を切り拓く万博を実現する。全ての関係者の思いを一つに「万博イヤー」を駆け抜けます。そして、大阪を持続的に成長・発展させ、平時の日本の成長と非常時の首都機能のバックアップを担う「副首都・大阪」への確かな歩みを進めていきます。

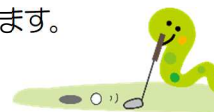
本年も、府民の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げますとともに、皆様にとって良い年となりますようお祈りいたします。



第3回運営委員会

11月29日（金）議題は以下のとおりです。

- (1) 新年交流会について：着席buffeにておこなう
- (2) ゴルフコンペについて：令和7年3月12日（水）箕面G.C 予定：後日案内を送付します。
- (3) 総会について：令和7年6月11日（木）予定
- (4) 今後の活動について：工場見学会 ⇒ 次年度に繰り越します。



企業啓発セミナー

11月29日（金）14：00～もの協×KECC共催セミナー「判例から学ぼう！ハラスメント対策の重要性とそのポイント」を行い、オンライン・会場を含めて54名の方にご参加いただきました。講師は弁護士に依頼し、過去の判例をもとにお話していただきました。



事務局長会議

- ・開催日：令和7年2月中旬 15：00～17：00
 - ・場所：マドームおおさか
- *申し込み、チラシについては後日 メール等で連絡いたします。

新年交流会&20周年祝賀会 1月22日（水）

- ・日時：令和7年1月22日（水）17時から
 - ・場 所：NEW OSAKA HOTEL
 - ・会費 15,000円 是非、ご参加下さい。
- *お祝い催しは、カクテルショーを行います。 今からでも間に合います！！

事務局より

今年もよろしくお願ひします。
 年末年始は、お天気も良く、初めて、おせちを作って食べました。（全種類ではありません）
 弊協会は、皆様のご支援のもと、設立22年目となります。
 少しずつですが、活動の幅が広がらなあと感じております。
 新年交流会&20周年祝賀会でお会いできることを楽しみにしております。
 年末から、インフルエンザAが流行し、マスク人口も増えてきています。お身体ご自愛ください。

